

実施事例

まちぶん



まちぶん in 鹿児島県伊佐市

2018年、市制10周年を迎えた鹿児島県伊佐市とともに、その記念プロジェクトとして実施したのが「まちぶん in 鹿児島県伊佐市」です。同市が力を入れている“文学”をキーワードに魅力あふれる観光資源

を活かした小説の公募や、地元の学生・子どもたちを対象とした小説の書き方ワークショップなどをSANKYOが企画・立案し、実施することになりました。

■ 市を舞台とした小説コンテストを開催

文学に力を入れている伊佐市の魅力を活かした企画「まちぶん」を立案し提案しました。「まちぶん」の核となるのは小説の公募です。人気小説投稿サイト「エブリスタ」とコラボして伊佐市が舞台となる小説を全国から公募しました。

■ ハイクオリティな特設サイトで注目度アップ

伊佐市の魅力を伝えつつ、小説コンテストの応募数増加を図る取り組みの一環として特設サイトを構築。市外に住む方でも具体的なイメージで小説を創作しやすいように、伊佐市の美しいロケーションを写真とテキストで6編の物語風に紹介しました。

概要

鹿児島県伊佐市 × SANKYO × エブリスタがコラボして市制10周年を迎える鹿児島県伊佐市を舞台にした作品を募集するプロジェクト！

ダムの中に沈み夏の時季にしか現れない「曾木発電所遺構」・滝幅「二ノメートルという巨大な」曾木の滝、最古となる焼酎の文字が大工の落書きとされる「郡山八幡神社」普通のようで普通じゃない、少し不思議で魅力的な街―伊佐市を舞台に作品を書いてみませんか？

鹿児島県伊佐市

01 十曾・布計エリア
“自然”と“懐かしさ”を感じるエリア
『鹿児島県北海道』とも呼ばれる伊佐市の中でも特に寒い地域にある布計は、冬に訪れるのが出来る程の気温まで下がる。また、布計小学校は廃校した昭和54年にタイムスリップしてしまっただけの懐かしさを感じる。
十曾には沢谷や池に近接するキャンプ場があり、五右衛門風呂から星望日本一にも輝いた満天の星空を堪能することが出来る。

02 大口エリア
“歴史”と“日常”を感じるエリア
伊佐が焼酎の産地と言われる由縁となった日本最古の「焼酎」の文字が記録されている「郡山八幡神社」。軍町及び城山形式の手法と焼酎建築の情景が強く加味された本殿は国の重要文化財にも指定されている。神社入口には機織敷刺をきっかけに何故か反対に設置された石王様も...。
また、『歴史公園』ではのどかに過ごす事が出来、春になると満開の桜が公園全体を覆うお花見スポットになっている。

03 曾木エリア
“迫力”と“神秘”を感じるエリア
滝幅216メートルを誇り東洋のナイアガラと呼ばれる「曾木の滝」。訪れた人々を釘付けにする程の迫力があることながら、紅葉や雪化粧をした四季折々の姿も見どころの一つ。
ダムの貯水量に応じて姿が変わる「曾木発電所遺構」。満水期の初夏から秋にかけて観れる全貌も、冬から春の間で観れる水に沈んでいる姿も神秘的に感じる。

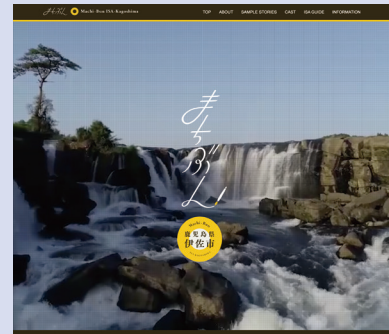
04 菱刈・湯之尾エリア
“期待”と“夢”を感じるエリア
2020年に実施されるかごしま国体でカヌー競技の会場にもなる『伊佐市菱刈カヌー競技場』は、国内でも高水準の立地条件にあり、カヌーやSUPをはじめ、ドラゴンボートレース『伊佐ドラゴンカップ』も毎年開催されている。
また、日本で最も金を産出している『菱刈鉱山』があり、近隣には鉱山から湧き出る源泉を有効活用した湯之尾温泉街が立ち並び、

■ 地元の小中高生対象のワークショップを実施

全国からの小説公募だけではなく、創作の楽しさや作家・編集者という仕事への興味を持ってもらうため、市内の小中高生に対して、小説の書き方をテーマとしたワークショップを実施。ワークショップの講師は、小説創作のノウハウを持つエブリスタとSANKYOの担当者が務めました。



企画名:まちぶん in 鹿児島県伊佐市
実施時期:2018年
募集内容:伊佐市を舞台にした小説
応募作品数:約250作品
展開場所:Webサイト・映像化
URL:machibun-isa.s-contents.jp



担当者インタビュー まちぶん in 鹿児島県伊佐市

■ まちの特長をリサーチ

私たちの取り組みのパートナーとなる自治体を探中、紹介を通じて候補に挙がったのが鹿児島県伊佐市でした。関心の有無をうかがったところ、「お互いが相乗効果を得られるような取り組みであれば、ぜひ一度お話をうかがいたい」というお返事をいただきました。最初の顔合わせは2017年

■ 市を舞台とした小説コンテストを開催

私たちが提案したのは、「まちを文学の力で盛り上げよう」をコンセプトに伊佐市を舞台にした全国からの小説公募と、地元学生に向けた小説創作ワークショップを実施するプロジェクトでした。「まちぶん」と名付けられたこのプロジェクトは、提案の翌年の2018年が伊佐市 市制10周年の節目の年であったこともあり、市制10周年記念事業として本格的にスタートすることになりました。なお、全国の小説クリエイターへの情報発信には、プロジェクトのパートナーである株式会社エブリスタが運営する国内最大規模の小説投稿サイトを活用。2018年8月末の締切日までの応募作品の総数は約250作品。大賞には特別な能力を持つ三姉妹の日常を描いたファンタジー「伊佐の穢い屋三姉妹『オルゴールの城』」(ふにやたらうさん)が選ばれました。



まちぶん in 鹿児島県伊佐市 Webサイトより

■ 小説の書き方をテーマにワークショップを実施

全国からの小説公募だけでなく、伊佐市内においても文学に触れるきっかけや創作の楽しさ、作家・編集者という仕事へ興味を持ってもらうため、市内の小中高生を対象に小説の書き方をテーマとしたワークショップを実施しました。学校の授業時間の1コマを使って実施したこのワークショップには、物語の創作に関してノウハウを持つエブリスタの担当者とSANKYOの担当者が講師として登壇。書き方を教えるだけでなく、学生自身が短編小説を書き、発表までを行うというワークショップの内容は実施後のアンケートで、教員の88%が「とても満足」「満足」と回答、参加した生徒の92%が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答し、高い評価をいただきました。



「伊佐の穢い屋三姉妹」|ショートフィルム|まちぶん伊佐

秋のこと。そこから私たちの取り組みが本格的にスタートしました。リサーチを進める中、浮かび上がったのは、小説「西郷隆盛」「天と地と」などで知られる小説家 海音寺潮五郎氏、バスケットボール漫画「スラムダンク」や剣豪宮本武蔵を描いた「バガボンド」で知られる漫画家 井上雄彦氏というストーリーテラーを育んだまちの特長でした。



伊佐の穢い屋三姉妹「オルゴールの城」

■ ハイクオリティな特設サイトで注目度アップ

「まちぶん in 鹿児島県伊佐市」の周知を図る取り組みの一環として、私たちは特設サイトを構築。伊佐市の観光資源をPRするとともに、市外に住む方でも具体的なイメージで創作しやすいように、ダムの中に沈み水位が下がる夏の時季にしか現れない曾木発電所遺構や、滝幅210メートルの巨大な曾木の滝、大工の落書きとされる最古の「焼耐」の文字が見つかった郡山八幡神社、歴史ある焼耐蔵などを6編の物語風に紹介。俳優をキャストして現地撮影した映画のワンシーンのような写真と、小説の一節のようなテキストで構成されたサイトデザインは高く評価され、広告・クリエイティブ専門誌「ブレン」にも誌面掲載されました。



■ 小説コンテスト大賞作品を映像化

2019年度には、小説コンテスト大賞作品『伊佐の穢い屋三姉妹』のメディアミックス企画として、映像化プロジェクトを進行。SANKYOが制作を全面的に請け負う形で行われました。約20分のショートフィルムは、受賞経験もある映画監督の速水雄輔氏を起用。また俳優だけではなく、30~40名の市民の方々にボランティアで出演いただきました。伊佐市の美しいロケーションで撮影されたハイクオリティな映像とストーリーはYouTubeなどで公開されて大きな注目を集めるだけでなく、専門誌などからも高く評価されました。